

【報告者】湯浅 創	
【学年】第3学年	【教科・単元名など】国語・くわしくする言葉
<p>【実践内容】</p> <p>児童が楽しく修飾語を学べるよう学習活動を工夫した。</p> <p>1. 修飾語を使って文章を分かりやすくしよう！          児童が知っている「桃太郎」の話を、修飾語を加えて分かりやすくする。</p> <p>主語と述語を児童に提示する。 桃太郎は、行きました。          「どこへ行ったのか分からない」</p> <p>修飾語を加える。 桃太郎は、犬、さる、きじを連れて鬼が島へ鬼たいじに行きました。</p> <p>児童の反応          「最初は文が分からなかったけど修飾語を使うと分かりやすくなった。」          「修飾語を使うと文を読んだだけでどんな話か分かるよ。」</p> <p>2. 友だちと修飾語を使って楽しく文を作ろう！          4人で1グループを作る。          主語と述語を児童に提示する。          「いつ」「どこで」「だれと(に)」「なにを」の書かれたカードを一人一枚ずつ取る。          相談せずに、カードに書かれた修飾語をノートに書く。          できた文を発表する。</p> <p>わたしは、 食べる。</p> <p>わたしは、明日 学校で 友だちと カレーライスを食べる。</p> <p>児童の反応          「みんなで修飾語を考えて文章を作ると楽しいね。」          「述語によって修飾語変わるよね。」          「もう1度やりたい。」          この後カードに「主語」と「述語」を加えてやってみた。述語によって飾語が変わってくるためなかなか文章が成り立たなかったが児童はとても楽しく活動していた。</p> <p>【反省】</p> <p>私の学級では書くことが苦手な児童が多い。そこで書くことの楽しさや詳しく書くことの大切さを知ってもらいたいと考え授業の工夫を行ってきた。          では、だれもが知っている「桃太郎」の話だったため、書くことが苦手な児童も修飾語を使って文を書くことができた。          では、友だちと協力して文を作る活動だったが、述語をもとにいろいろと修飾語を考え楽しい文をたくさん発表していた。児童からはまたやりたいといった声が多く聞かれた。          今回の学習を通して、書くことが苦手な児童も楽しく活動する姿が見られた。この学習で身に付いた事を作文指導などで生かしていきたい。</p> <p>&lt;参考文献&gt; なし</p>	